

アクティブ・ラーニング実践
(地域中堅企業研究)
i n 高山・岐阜
報告書

2016年11月

多摩大学

1. 開催目的

地域中堅企業から地方創生のあり方、国内産業のあり方および自分自身のキャリア形成のあり方について検討を行い、自分なりの考え方を身につける。

今回は、岐阜県（高山市及び岐阜市）の中堅企業および観光地を訪問し、ヒアリングを行うことで、地域中堅企業から地方創生のあり方、国内産業のあり方および自分自身のキャリア形成のあり方について検討を行う。具体的には、有力企業への訪問とヒアリング、地域観光資源の発掘、地域人材との交流などを中心としたフィールドワークを実施し、地域産業やキャリア形成に関する視野を広げる。

学生の到達目標は次の3つである。

- 1)参加経験を通じた自分たちの意見、考え方をしっかりと伝えることができる。
- 2)訪問した企業の情報を摂取し、地域産業の方向性、中堅企業の戦略について理解する。
- 3)都心の有名企業とは別の、地方の有力企業への就職という選択肢を検討する。

代表、本報告書文責：多摩大学経営情報学部 奥山 雅之

2. スケジュール

事前学習 2016年10月26日(水) 16:20-19:30 112教室

現地調査 2016年11月6日(日)～11月8日(火)

11月6日(日)

14:00 飛騨高山ワシントンホテルプラザ高山駅前集合 ※時間厳守

〒506-0026 岐阜県高山市花里町5丁目20番地

TEL : 0577-37-0410 / FAX : 0577-35-3755

荷物を置いて商工会議所に移動

14:15～15:00 特別講義「高山市の観光の現状について」

高山市商工観光部観光課 高原恵理課長

高山商工会議所会議室 〒506-8678 岐阜県高山市天満町5丁目1番地

15:00～16:30 高山フィールドワーク(グループごと) <徒歩、路線バス>

17:00-18:00 グループワーク「問題解決：高山市の観光振興に向けて」

講義とフィールドワークを受けて、問題解決を検討

高山商工会議所会議室

18:00～19:00 提案発表(各グループ10分×2組)

高山商工会議所会議室

19:30-20:30 夕食(各自)

飛騨高山ワシントンホテルプラザ高山駅前(泊)

11月7日(月)

7:30 飛騨高山ワシントンホテルプラザ高山駅前発

宮川朝市見学

9:15 バス乗車 高山発

9:30～11:00 株式会社和井田製作所

〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121

TEL : 0577-32-0390 FAX : 0577-37-0020

12:00 白川郷

昼食・観光(各自)

13:00 白川郷発

15:00～16:30 飛騨産業株式会社
〒506-8686 岐阜県高山市漆垣内町 3180
電話 0577-32-1001

17:00-17:30
フレッシュフーズ駿河屋 エブリ東山店 FRESH LAB
岐阜県高山市松之木町 283-1 0577-37-0085

18:00
お宿山久
〒506-0832 岐阜県高山市天性寺町 58
TEL0577-32-3756 FAX0577-35-2350

夕食・懇親会

お宿山久（泊）

11月8日（火）

8:00 お宿山久出発
（高山⇒岐阜）

10:30～12:00 株式会社電算システム
岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江1丁目58番地
TEL : 058-279-3456 FAX : 058-279-5848

12:30（見学先⇒岐阜駅 ※バス降車）昼食（各自）

13:30～15:00 岐阜プラスチック工業株式会社
〒500-8721 岐阜県岐阜市神田町9丁目27番地（大岐阜ビル）
TEL (058) 265-2232 FAX (058) 265-2479

15:30 岐阜駅解散

3. 参加者

多摩大学経営情報学部 学生23名、教員2名、職員1名 合計26名

4. 行程詳細および研修内容

11月6日(日)

- 1-1 14:15~15:00 特別講義「高山市の観光の現状について」
高山市商工観光部観光課 高原恵理様（要調整）
高山商工会議所会議室 〒506-8678 岐阜県高山市天満町5丁目1番地



- ・高山の観光は、昭和38年、「暮らしの手帖」創刊者であった花森安治が「おとぎ話のようなまち」として雑誌に紹介したことに端を発する。昔の街並みが残っている「取り残されたまち」であったことが結果的に観光の面では資源となった。
- ・高山は日本一広い「市」。山に囲まれたまち。
- ・市町村合併後、現在の人口は9万2千人余りだが、2040年には7万人を割るといわれている。

・高山市の魅力

歴史的文化資源（古い町並み、高山祭など）

自然と温泉資源

食文化（飛騨牛、日本酒など）

伝統工芸品（飛騨春慶、一位一刀彫など）・飛騨家具

四季ごとの資源・多彩なイベント

「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産 評価機関より登録の勧告
日本遺産（文化庁認定）

- ・高山市の観光の現状

観光客の推移：2015年は434万人、宿泊客、日帰り客の割合はほぼ半分ずつ
外国人は364,000人、国別では台湾、香港、タイの順に多い
目標は平成31年452万人（外国人40万人）、36年500万人（外国人50万人）
観光消費額は820億円、経済波及効果はすでに1,813億円（2015）

- ・観光予算

一般会計で約6億円。市にしては大きい金額。
新規施策として「飛騨高山ウルトラマラソン」を端境期の6月に開催 3000人が参加
直接経済効果1.2億円、波及経済効果2.7億円となった。

- ・海外戦略として、多言語パンフレットやマップ作製、観光案内所の設置、多言語案内サイン設置、無料Wi-Fi設置など

- ・特に無料Wi-Fi設置は、利用者のメールが取得できる仕組みであり、そのメールへと観光案内や観光情報を発信できる

- ・高山市の中心市街地のみを案内できる特例通訳案内士を育成

- ・観光振興の今後と課題

古い町並み（上町）に集中する観光客＜回遊性確保＞
観光客の歩行空間の創設のための車両規制の検討＜渋滞解消＞
貴重な文化継承のたえの人・こころの醸成
おもてなしの質を高める難しさ
バリアフリー観光

※車両規制に関しては11月3日まで社会実験を実施した。

1 - 2

15:00~16:30 高山フィールドワーク（グループごと）

上記<回遊性確保><渋滞解消>の課題解決のアイデアを探るためにフィールドワークを実施



観光バス、自家用車、観光客が交差して渋滞する「中橋」付近



上町、中心市街地に近い神明駐車場



観光客が集中する上町地区



上町と下町を分断する国道 158 号線
多くの観光客は下町まで入らず、上町へと引き返す

1 - 3

17:00-18:00 グループワーク「問題解決：高山市の観光振興に向けて」

講義とフィールドワークを受けて、2班に分かれて問題解決を検討
高山商工会議所会議室



回遊性検討グループ



渋滞解消検討グループ

1 - 4

18:00~19:00 提案発表（各グループ 10分×2組）

高山商工会議所会議室

11月7日(月)

2-1

7:30 宮川朝市見学



2 - 2

9:30~11:00 株式会社和井田製作所

〒506-0824 岐阜県高山市片野町 2121

TEL : 0577-32-0390 FAX : 0577-37-0020



【学生の考察・感想】

- ・多様な機械が配置されていて興味深かった
- ・特殊分野にこだわる戦略がとても良いと思った。
- ・現場で働いている人の年齢層が幅広く、若い人も多いと感じた。
- ・創業の場所が東京の大田区ということを知って、地元なので親近感が湧いた。
- ・様々な伝統、特に「人づくり」の伝統について強い関心を持った。
- ・技術面で世界に挑戦している会社化と思ったが、それだけではなく、技と一緒に社会貢献や子供たちの未来にもしっかりと携わっていた。
- ・ナノミクロンなど非常に細かな作業を寸分狂わず行える技術力は興味深い。
- ・一つ一つの技術がとても繊細で世界に誇れる技術だと思った。
- ・ドイツの会社と相互販売提携によってグローバルな市場開拓をするという考え方が素晴らしいと思った。
- ・機械ではなし得ない職人による仕上げ作業をみて、やはり伝統や職人の技能というものは絶えず受け継いでいくべきなのだなと感じた。
- ・大きな工作機械をあまり見る機会がなかったので興味深かった。
- ・機械が発達しても、結局は人の手による地道な作業が必要なのだと思った。
- ・車の形が変わることによって、この企業の将来にも大きな影響があることをすでに戦略として考えているのが素晴らしいと思った。
- ・温度の管理から床の作り方まで、徹底して精度を追求する姿が素晴らしかった。
- ・価格よりも品質を重視したモノづくりが良いと思った。

2 - 3

12:00 白川郷

昼食・観光（各自）

13:00 白川郷発



2 - 4

15:00~16:30 飛騨産業株式会社

〒506-8686 岐阜県高山市漆垣内町 3180

電話 0577-32-1001



【学生の考察・感想】

- ・工場で働く方たちが、生き生きと楽しそうに仕事をしていたので、良い会社だと感じた。
- ・役割分担ができていて、それぞれがプロフェッショナルになれる会社だと思った。
- ・工場に無駄がなく効率的だと感じた。
- ・「曲木」の技術が素晴らしいと思った。
- ・実際に工場内に入ってみると、想像より女性の方が多く働いていた。
- ・杉の木を圧縮させる技術により、杉を家具などにも利用できるようになるのには驚いた。
- ・「人として大事なことを守っている人は、周りが守ってくれる」という言葉には感動した。
- ・高級家具の製造、完全受注生産の会社なので、最初はお堅いイメージだったが、温かみのある会社であった。
- ・社員の方のお話を伺って、社員の方はとても熱い方で地元愛が強いと思った。
- ・高品質を求める顧客がターゲットということなので、今後は安さ重視の日本人よりも中国などの富裕層などに販売し、日本の職人の素晴らしさがもっと広まってほしいなと思った。
- ・環境にも配慮していた。特に樹液を薬品に使う研究など、木の成分を捨てることなく隅々まで利用しようとする姿勢が素晴らしかった。
- ・見込生産から受注生産に切り替えるのは簡単ではないと感じた。
- ・工場内はとても整備されていて、働きやすい職場だと思った。
- ・良い家具は一生使うという信念が良く理解できた。
- ・リピーターやファンを増やしていくという考え方に共感した。
- ・非常に整った作業工程だと感じた。若い人が多いのにはびっくりした。

2 - 5

17:00-17:30

フレッシュフーズ駿河屋 エブリ東山店 FRESH LAB

岐阜県高山市松之木町 283-1 0577-37-0085





【学生の考察・感想】

- ・スーパーに三次元プリンタなどが置いてあるのがすごいと思った。
- ・この店で実施される各種イベントに参加したいと思った。
- ・経営者の人柄の良さがにじみ出ていた。
- ・人間力を重視している会社だと感じた。
- ・地域密着型のスーパーで、地産地消の料理教室やサンマに切れ目を入れる見えない工夫など、都心のスーパーにない良さがあった。
- ・お店の工夫として、水産コーナーのサンマに切れ込みが入っている理由として、お客様に焼き魚用途知らせる意味もあるということを知った。こうした発想は非常に興味深く、自分がアルバイトしているスーパーでもぜひ取り入れたいと思った。経営者の人柄がよく、尊敬している。
- ・創業80年も地域で愛されるということは、企業努力の成果の表れだと思う。
- ・モノづくりや料理教室など、スーパーという業種にこだわらない展開が面白かった。
- ・地方のスーパーなのでもっとこじんまりとしているのかなと想像していたが、広くて明るい店舗で、スタイリッシュで驚いた。
- ・経営者の方が情熱を持って高山市の活性化に力を入れていることを感じた。
- ・人の温かさを感じられる店舗づくりをしていた。
- ・経営者の人柄は、地域の人を幸せにする力があると感じた。

11月8日(火)

2-6

10:30~12:00 株式会社電算システム

岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江1丁目58番地

TEL : 058-279-3456 FAX : 058-279-5848



【学生の考察・感想】

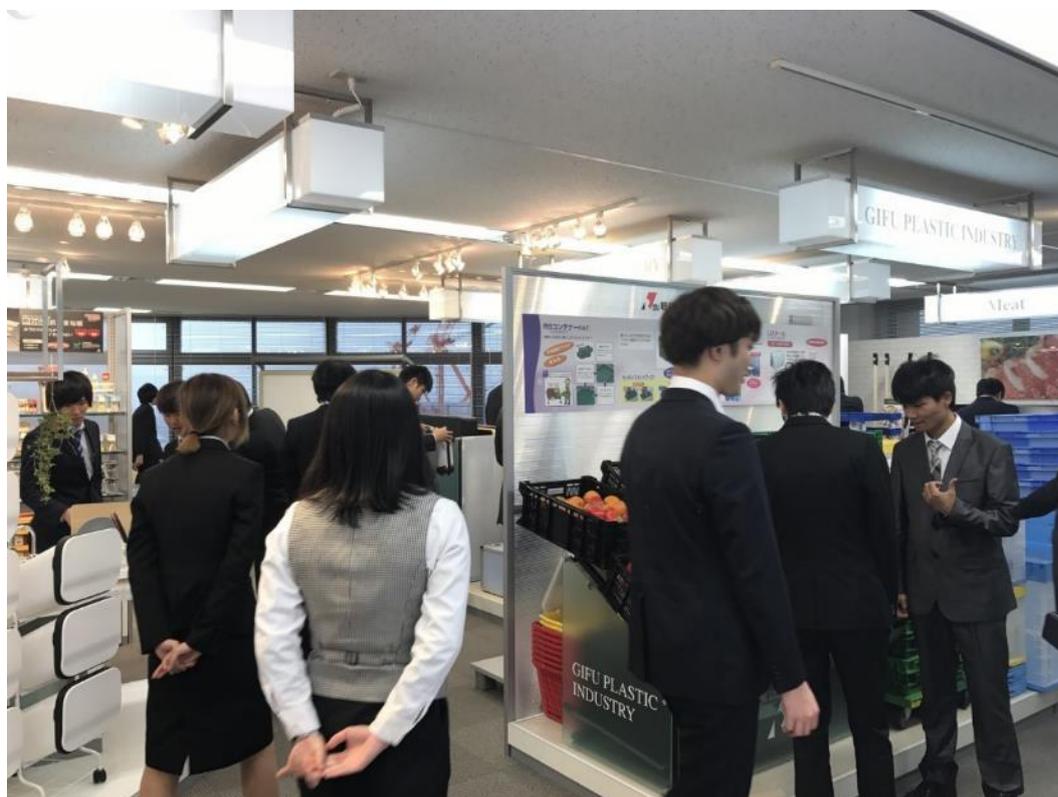
- ・払込票は日本では普及しているが、海外に展開していく苦勞を感じた。
- ・志を大切にしている会社だと感じた。
- ・よく見かける払込票を電算システムが生み出したと聞いて驚いた。
- ・「金華八策」など明確なビジョンがあり、社員の方々が意欲を向上させやすい環境だと感じた。
- ・デジタル教科書を開発しているのには驚いた。
- ・業務分野が広いと感じた。
- ・一口に IT 業界といっても、この会社は他社でやっていないような様々な分野に精通していてとても興味深かった。
- ・社内がとてもきれいで、IT 関連の企業のイメージそのままだった。
- ・これからの時代を担っていくような事業をしていた。
- ・パイオニア精神にあふれる会社だと思った。
- ・いつも使っている様々なシステムや製品の企業名を自分が良くみていないことが実感できた。視野を広く持とうと思った。
- ・教科書の電子化によって教育現場が大きく変わるような気がした。
- ・日本とフィリピンの慣習の違いもビジネスに大きく影響していることが分かった。
- ・地域に根を下ろしながら、東証一部にも上場し、世界へ展開している企業があることを知った。
- ・払込票の事例を聞いて、日本で成功したビジネスが必ずしも海外で成功するとは限らないことを学んだ。
- ・時代の流れをしっかりと読んでいる企業だと感じた。
- ・顧客の満足のために常に問題解決をしている企業。お客様とともに汗をかき、知恵を出すプロフェッショナルな企業だと思う。

2-7

13:30~15:00 岐阜プラスチック工業株式会社

〒500-8721 岐阜県岐阜市神田町9丁目27番地（大岐阜ビル）

TEL (058) 265-2232 FAX (058) 265-2479





【学生の考察・感想】

- ・プラスチックを軸に、幅広い分野に展開しているのが魅力と感じた。
- ・無印良品向けなど、デザインの良いかっこいい製品も多かった。
- ・顧客のことをしっかり考えている理想的な会社だと感じた。
- ・トライアンドエラーを地で行っている会社。一日100型つくると聞いて驚いた。
- ・惣菜のパックやプールのスロープなど身近な製品が多くつくられているので興味深かった。
- ・容器のふたに醤油スペースがついているものはびっくりした。
- ・新しいアイデアが常に頭の中に存在していたり、もしくは考えたりするのかと思うと、社員の方々は素晴らしいと思う。
- ・今まで会社名を知らなかったが、生活していく上でこの会社の製品をたくさん使っていることに驚いた。
- ・プラスチックというものの用途の広さを実感した。まだまだ伸びそうな会社だと思った。
- ・ハニカム構造の「テクセル」という材料にとっても将来性を感じた。
- ・使う人のことを良く考えて製品を作っているなあと感じた。
- ・ブランド力のある企業と組んでモノづくりをするという発想が素晴らしいと思った。

なお、本プログラムは、寺島学長主宰の戦略経営塾参加企業の皆様、岐阜市役所、高山市役所、高山商工会議所の皆様、訪問を受け入れていただいた企業・団体の皆様など、多数の方々から多大なお力添えをいただきながら実施したものである。この場を借りて御礼申し上げる。